

(熊谷市) 記者クラブ取材情報

事業の名称等

政策提言（マニフェスト）の取組状況について

1. 実施日時等 平成 22 年 12 月 1 日（水）（市報及び市ホームページに掲載）
2. 会場・主催地 熊谷市宮町二丁目 47 番地 1
3. 主催者・関係者
 - (1) 団体名等 熊谷市
 - (2) 代表者名 熊谷市長 富岡 清 TEL 048-524-1111
4. 事業内容 昨年 11 月、市長就任（3 期目）から 1 年が経過したので、この 1 年間における 6 つの政策分野、58 の施策からなる市長の政策提言（マニフェスト）の取組状況を公表するものです。
5. 目的・理由 新たなまちづくりに向けた 6 つの政策分野、58 の施策からなる政策提言について、1 年ごとに施策の進捗率や実績・取組状況について総括し、評価することで現状を把握し、2 年目以降の施策の取組に効果的かつ効率的に反映させていくことを目的としています。
6. 経緯・経過 58 の施策ごとに実績・取組状況を踏まえ、各施策の達成度をポイント化し、「順調」＝「★★★（3 ポイント）」、「おおむね順調」＝「★★（2 ポイント）」、「やや遅れている」＝「★（1 ポイント）」、「遅れている」＝「－（0 ポイント）」として各施策のポイントを加算した 110 ポイントを、全施策を「順調」と評価したときの 174 ポイントで除して進捗率を算出し 63%となります。また、自己評価については、これらの結果を踏まえ 58 点としました。
7. 影響・効果 マニフェストについては今回が 2 度目となりますが、任期中に目標を達成できるよう、今回の結果をしっかりと分析し、課題解決に全力をあげ、各施策の着実な実施に努めていきます。
8. この事業の実施による特記事項

(1) 県内の状況

ア. 県内で初めて イ. 県内で 番目

(2) 他市が実施している事業に比べて本市の特色

県内では、上尾市、行田市、秩父市などが実施をしています。

・他市と同じ

※ 資料の有無（ 有 ・ 無 ）

担当課 市長公室政策調査課

担当者 石井、茂木

連絡先 TEL 524-1111（内線 368）

マニフェストの取組状況を公表します

～進捗よく率 63%、自己評価は 58 点～

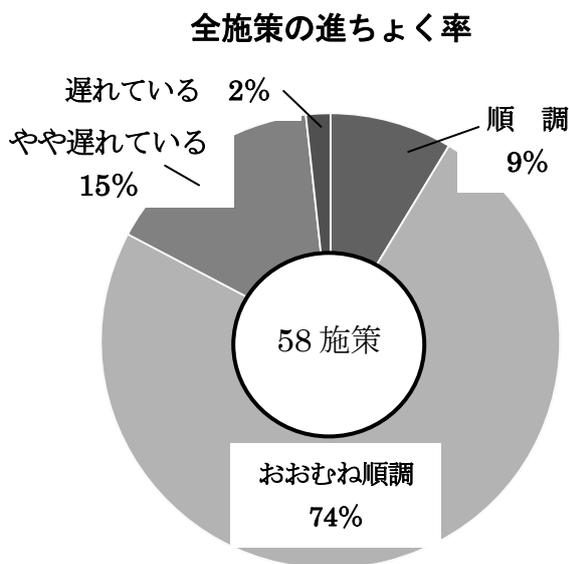
新たなまちづくりに向けた 6 つの政策分野における市長の政策提言(マニフェスト)について、一年目の取組状況をお知らせします。

【概要】

58 施策にわたる政策提言の達成度を、実績・取組状況に基づき「順調」(★★★=3 ポイント)、「おおむね順調」(★★=2 ポイント)、「やや遅れている」(★=1 ポイント)、「遅れている」(0 ポイント) の 4 段階で評価しました。

これら 58 施策のうち、5 施策が「順調」で 15 ポイント、43 施策が「おおむね順調」で 86 ポイント、9 施策が「やや遅れている」で 9 ポイント、「遅れている」は 1 施策となりました。これにより一年目の達成度は 110 ポイント(全施策が「順調」の評価で 174 ポイントとなります。)、進捗よく率は 63%となります。この結果を踏まえ自己評価を 58 点としました。

マニフェストの取組状況



達成度	施策数	ポイント	割合
順調 (★★★=3点)	5	15	9%
おおむね順調 (★★=2点)	43	86	74%
やや遅れている (★=1点)	9	9	15%
遅れている (0点)	1	0	2%
合計	58	110	100%

進捗よく率 63%は、110 ポイント (1 年目の達成度) を 174 ポイント (全施策が「順調」の評価) で除したものです。

【1 年目の主な成果】

1 市民が元気で健康なまちをつくります

平成 18 年 4 月から実施している不妊治療費の助成については、本年度から助成限度額を 5 万円から 10 万円に、助成期間を 2 年から 5 年に拡大し、制度の充実を図りました。また、生涯学習の拠点となる熊谷東小学校区内の公民館を中央消防署との複合施設として設置するための実施設計を進めています。

2 子どもたちが輝き、夢と希望がもてるまちにします

子育て支援・教育環境の整備として、本年9月に公立では市内で32番目となる第2大麻生児童クラブを開設したほか、石原小学校、中条小学校、別府中学校の屋内運動場の改築を行うなど、耐震診断の結果に基づいた小中学校の屋内運動場の耐震化を計画的に進めています。

また、中学校卒業までの入通院医療費の無料化を引き続き実施し、子育て家庭の経済的負担の軽減を図っています。

3 活気とにぎわいのあるまちをつくります

夏の風物詩となっている雪くまをはじめ、ミニくま、熊谷うどんなどの熊谷ブランドの普及、啓発を行ったほか、魅力ある観光の整備の取組として、来年6月の妻沼聖天山の一般公開に向け、坂田医院旧診療所跡地内の駐車場に観光トイレを設置するなど、観光客をお迎えする準備を進めています。

また、熊谷の豊かな自然、農村風景や農産物など地域の魅力ある資源を活用した交流事業を「熊谷型グリーン・ツーリズム」として、江南地区の栗拾いや栗を利用した料理体験と塩古墳群などを巡るコースを設定し、新たな観光振興についても取り組んでいます。

4 安全と安らぎのあるまちをつくります

住宅に太陽光発電システムや高効率給湯器を設置する費用を補助するための予算を増額し、制度の充実を図ったほか、特例市では初めてとなる地球温暖化防止活動推進センターを指定し、事務所を本年10月に江南庁舎に開設することにより、地球温暖化対策の普及・啓発の推進を図っています。

また、災害や犯罪から市民生活を守る安全なまちづくりを進めるために、犯罪抑止効果の高い青色防犯灯への交換費用の助成を行ったほか、老朽化した中央消防署の建て替えのための実施設計を進めています。

5 便利で機能的なまちをつくります

本年8月に籠原駅東側の新寄居踏切に歩道を設置する拡幅工事を完了するなど、通勤・通学等の安全確保や交通の利便性を図っています。

また、老朽化した南運動場（野球場）を解体し、幅広い年齢層の人たちが憩うことのできる多目的広場や非常時の避難場所として再生する整備を、来年3月の完成に向け進めています。

6 効率的な行財政経営を進めます

市営住宅の適切かつ効率的な管理を図るため、本年4月にその管理を県住宅供給公社が代行する管理代行制度を導入したほか、特定行政庁への移行によりすべての建築物の建築確認や許認可等が本市の窓口で行えるようになっていきます。

また、職員の定員適正化による人件費削減などの歳出抑制により、地方債残高は平成21年度末で732億円に減少し、前年度に比べ28億円の削減となるなど、財政の健全化に努めています。今後も、本年3月に策定した行政改革大綱後期実施計画に基づき、引き続き行財政改革に取り組みます。

マニフェストの評価及び取組状況 (★★★…「順調」★★…「おおむね順調」★…「やや遅れている」―…「遅れている」)

1 市民が元気で健康なまちをつくります

区分	政策提言	達成度	実績・取組状況
充実	観るスポーツを誘致し、参加し、楽しむスポーツを振興します	★★	スポーツの機会や情報を提供する事業、全国高等学校選抜ラグビー大会、さくらマラソン、高校女子サッカー大会めぬまマップの中核3事業は、おおむね順調に推移している。さくらマラソン大会は、安全面に配慮し定員を検討中である。
充実	不妊治療費の助成を拡大します	★★★	4月から助成限度額を5万円から10万円に、助成期間を2年から5年に拡大することで制度の充実を図った(平成22年4月1日以後の治療分から適用)。
充実	ふれあいいいききサロンなど、高齢者等が楽しく過ごせる場を増やします	★★	社会福祉協議会の「ふれあいいいききサロン」は大里、江南地区で実施している。平成21年度からは熊谷地区で2団体の実施により開催日数が増加した。「ダモンネみはらし」については、継続して市の委託事業として取り組んでいる(平成23年度まで委託予定)。
新規	校区連絡会の地域計画づくりを支援し、住みよい地域づくりを進めます	★★	平成22年度は、翌年度の地域計画づくりモデル校区の選定に向け準備を進めている。
新規	高度救急医療を視野に入れた地域医療体制を充実させます	★	県総合計画である「ゆとりとチャンスの埼玉プラン」と「第5次埼玉県地域保健医療計画」により、4月から医療圏が変更され、第二次救急医療体制について、現在協議・検討中である。
新規	市立女子高校跡地を生涯学習、教育、スポーツの場にします	★	5月に「熊谷市立女子高等学校跡地及び施設利用構想検討委員会」を設置し、活用方法を検討中である。
新規	熊谷東小学校区内に公民館を新たに建設します	★★	平成22年3月に「(仮称)熊谷中央消防署庁舎及び熊谷東小学校区公民館」基本設計が完成し、実施設計において関係課、業者と協議を進めている。

2 子どもたちが輝き、夢と希望がもてるまちにします

区分	政策提言	達成度	実績・取組状況
継続	中学校卒業までの子どもの医療費の無料化を継続して実施します	★★★	中学校卒業までのこども医療費の無料化について、継続して実施している。
充実	小・中学校の屋内運動場を順次、改築します	★★	石原小学校・中条小学校・別府中学校の屋内運動場の改築を行うなど、耐震診断の結果に基づき計画的に耐震化を進めている。平成22年度は、吉岡中学校・中条中学校・熊谷東小学校の屋内運動場の改築に向け設計業務を委託した。
充実	学力向上補助員と学校教育支援者を増員します	★★	市内全小・中学校に学力向上補助員等を配置し、個に応じたきめ細やかな指導を実施し、県の学力調査等でも定着の度合いが高く、効果が上がっている。また、学校教育支援者活動事業により、小学校では各学級ごと年2回程度、中学校では各学級ごと年1回程度の授業の支援を行っている。
充実	外国人英語指導助手を市内全小・中学校に配置します	★★	小学校5、6年生すべてに年間35時間の英語活動を担任との連携より授業を実施した。中学校では、英語教師との連携により授業を実施し、英語教育、国際理解教育を推進した。
充実	0歳児保育を実施する保育所を増やします	★★	平成23年4月から生後8週からの保育が実施できるよう、大里第一保育所及び江南保育所の施設の改修整備を進めている。
充実	児童クラブを増やします	★★	9月1日、公立では市内で32番目となる「第2大麻生児童クラブ」を開設した。延床面積:111.94㎡ 構造:木造平屋 施設:保育室、事務室(77.88㎡・約23.6坪) 事務室、男女トイレ、多目的トイレ
充実	子育て広場を増やします	★★	地域子育て支援拠点施設として、4月に奈良保育園「どんぐりメイト」、5月には荒川公民館内に市直営の「きらきら」を開設した。
新規	母子家庭に支給されている児童扶養手当を、他市にさきがけ、父子家庭にも支給します	★★★	児童扶養手当法の一部改正により、8月から父子家庭にまで支給対象が拡大されたため、これに併せ、市報、ホームページで広報を行った。10月1日現在、父子家庭の受給者は28世帯である。
新規	学校給食施設の整備を進めます	★	老朽化した調理設備の計画的更新を進めており、平成22年度中に調理場備品として3機種を設置する準備を進めている。

3 活気とにぎわいのあるまちをつくります

区分	政策提言	達成度	実績・取組状況
継続	自転車道整備やバリアフリー化を進め、回遊性の向上を図り、中心市街地のにぎわいをつくります	★★	中心市街地を歩いて楽しめる“宝探しイベント”を民間団体と共同して新規に実施した。 また、鎌倉町商店街協同組合が新たに取組んだ中心市街地の空き店舗を利用した野菜販売事業に対して支援を行った。
継続	補助を伴う融資により、中小企業経営を支援します	★★	借入金を完済した事業者に信用保証料を補助した(17件)。 金融機関への支払利子を補助(269件)し、中小企業者を資金面から支援した。
継続	農地・水・環境保全向上対策事業の取り組みを支援します	★★★	農地・水・環境保全向上対策事業に取り組み35の活動組織へ、円滑な活動が遂行できるよう指導助言を行った。
継続	「熊谷フィルムコミッション」により映画撮影等の支援を行い、市のPRに努めます	★	映画、テレビドラマ、CMなどの撮影依頼に対し、市内ロケーションの紹介、調整等を行った。
継続	熊谷中央地区のほ場整備を推進します	★★	ほ場整備に係る基礎調査等に対して、所要の支援を実施した。 なお、事業については、計画に基づきおおむね順調に進捗している。
継続	市民の食の安心・安全を図るため、地産地消運動を進めます	★★	熊谷産農産物ののぼり旗の作成・提供を行った。 また、市報及びホームページでのPR、各種イベントでの熊谷産農産物の直売、熊谷産農産物の加工品の開発研究を行った。
充実	熊谷ブランド化を図り、地域物産情報の発信を進めます	★★	「ミニくま」については、産業祭、ドリームフェスタ等への出展・PRを行ったほか、マスコミによるPR活動を行った。 「雪くま」については、熊谷市及び近隣市に対して折込チラシの配布等によるPR活動を実施した。 また、県内外のイベントに出店することにより、熊谷の観光や地域物産情報を発信した。
充実	商店街の街路灯を省エネ電球(LED)に交換する支援をします	★★	「経済危機対策」商店街街路灯省エネ改修補助事業に継続して取り組んだ結果、12月に街路灯135基を新たにLED照明に改修するよう準備を進めている。
充実	祭りなど各種伝統行事の運営を支援し、観光客誘致に努めます	★★	熊谷市の観光及び地域物産の情報を、各種広告媒体によるPR活動やイベント出店等によって発信し、観光客の誘致を行った。
充実	既存企業の支援を強化するとともに、地球環境等に配慮した企業の立地を進めます	★★	熊谷市産業立地促進条例に基づき、4社を指定事業者として指定し、事業所設置奨励金及び雇用促進奨励金を交付した。 また、企業立地などの奨励措置に関する新たな条例の制定(平成23年4月1日施行予定)に向け、素案を策定した。
新規	妻沼聖天山を中心にしたエリアを観光拠点として整備します	★★	坂田医院旧診療所跡地内における観光トイレの設計及び工事をを行い、11月7日に使用を開始した。 また、妻沼聖天山の観光PRIに併せ、坂田医院跡地駐車場についても新聞折込により周知とPRを行った。
新規	携帯電話を利用して、いつでも街角の情報、観光案内が受けられるシステムを導入します	★	「観光ガイドシステム」の実現に向け、ワーキングチームを設置した。
新規	歴史的、文化的資産をデジタル化した「熊谷デジタルミュージアム」を開設します	★	「デジタルミュージアム」の実現に向け、ワーキングチームを設置した。
新規	豊かな里山など地域の魅力的資源を活用した交流事業「熊谷型グリーン・ツーリズム」を進めます	★★	市内観光名所の見学や農業体験・収穫した農産物の調理等、地域資源を活用した熊谷型グリーン・ツーリズム事業として、9月に江南地区の栗拾いや栗を利用した料理体験と塩古墳群など巡るコースを設定した。また、妻沼地区での実施も具体的に検討している。
新規	テクノグリーンセンター用地に、県と共同でにぎわい施設をつくります	★	共同事業者である埼玉県と早期に施設整備の方向性が示せるよう、協議を行っている。

4 安全と安らぎのあるまちをつくります

区分	政策提言	達成度	
充実	「あつさ はればれ 熊谷流」事業を充実し、先進的な環境プロジェクトを進めます	★★	「熊谷市地球温暖化防止活動推進センター」の指定をはじめ「熊谷市地球温暖化防止活動推進員」の委嘱、本庁舎・江南庁舎の窓ガラスへの断熱フィルムの貼付けなど9つの事業を行った。
充実	自主防災組織の組織率を引き上げます	★★	自主防災組織の組織率を引き上げるため、次の取組を行った。 ・自治会連合会へ結成の依頼 ・自主防災組織説明会にて結成の依頼 ・結成前説明会 ・自主防災組織リーダー研修会実施 ・コミュニティビジョン掲載(6月) ・市報掲載(9月号)
充実	子どもエコクラブを各小学校区に設置し、「環境について自ら考え、自ら行動できる子」を育てます	★	自然保護に力を入れている小・中学校に対し、個別に子どもエコクラブへの加入を依頼した。
充実	家庭用太陽光発電設備の設置費用を助成します	★★	家庭用太陽光発電システムの設置に要した費用の一部を予算の範囲内で補助金として交付した。 ※平成22年度は、補助額を太陽電池の最大出力に1キロワットあたり2万5千円を乗じて得た額とし、10万円を上限として補助を行った。
充実	犯罪抑止に効果の高い青色防犯灯への交換費用を助成します	★★	9月30日現在、自治会が新たに設置及び灯具交換を行った防犯灯は277灯で、うち72灯の青色防犯灯の設置に対し費用の一部を助成した。
新規	合併処理浄化槽の維持管理費用を助成します	★★	合併処理浄化槽を適正に維持管理している市民に対して補助金を交付した。
新規	低公害自動車の軽自動車税に対して助成します	★★	平成23年度からの制度導入に向け、埼玉県による低公害軽自動車に対する取得税減額車両数の平成21年度実績を調査することにより、その助成対象の見込み車両数の捕捉を行った。
新規	企業の環境関係設備に対する課税上の支援をします	★★	平成23年度からの実施に向け、対象となると思われる機器についての事業者への調査及び見込まれる申請件数を予測するための事前調査を行った。
新規	市街地の公園を市民の憩いの場として再生します	★★	平成23年度からの公園再整備の国庫補助実施について計画が採択がされた。平成23年度に7～8か所の既設の公園を再整備することを目標に、平成22年度は、対象公園について選定調査を行っている。
新規	市民による公園の芝生化を進めます	★★	公園の環境維持・保全と愛護意識高揚を図る公園サポーター制度とともに、市民に周知を図り協力を得ながら、籠原中央公園や南運動場などの公園の芝生化を進めている。
新規	中央消防署を移転して整備し、消防力を強化します	★★	実施計画どおり基本設計及び地質調査を行った。現在、実施設計について関係課、業者と協議を進めている。

5 便利で機能的なまちをつくります

区分	政策提言	達成度	実績・取組状況
継続	橋梁の調査点検、維持管理を行い、長寿命化を図ります	★★	1年目は、職員により42の橋梁について、調査点検を実施した。
継続	交通安全上、狭くて通行しにくい籠原駅東側などの踏切道の拡幅改良を進めます	★★	籠原駅東側の踏切道の拡幅改良及び石原No.4踏切道のカラー舗装化を実施した。
継続	南運動場を多目的広場として再生します	★★	平成23年3月末の完成に向け、解体工事を完了し、現在整備工事を進めている。
充実	市内循環バスは、75歳以上の運転免許証返納者の料金無料化を図るとともに、路線数を増やします	★★	70歳以上の免許を返納した市民の申請で、運賃無料で乗ることのできるバスを交付している(10月末現在 申請者 73人)。路線については、交通会議で江南地区路線等について検討を行っている。
新規	街路樹による緑陰形成や路面温度を低下させる舗装等、地球温暖化防止の道路空間整備を進めます	★★	計画(案)に対する意見公募手続を経て、中心市街地における道路空間整備の方向性を示した熊谷市都市環境改善基本計画を策定した。 【パブリックコメントの実施期間】 意見募集期間 8月2日から8月31日まで 結果の公表日 10月7日
新規	熊谷駅南北駅前交通広場の整備を進めます	★★	平成22年度中の計画策定に向け、現在、庁内関係課による調整会議を開催し、整備計画を精査している。
新規	籠原駅北口周辺の電線地中化を進めます	★★	電線類地中化事業への参画について、電気通信事業者等(東京電力、NTT、KDDI、熊谷ケーブルテレビ)の意向を確認し、担当者レベルでの協議を開始した。
新規	(仮称)熊谷西環状線の整備を進めます	★★	地元説明会など、円滑な事業の推進のための支援を行った。 平成21年度に道路設計に必要な路線測量や地質調査が着手となり、現在、道路詳細設計が進められている。
新規	(仮称)南部東西幹線の整備を進めます	—	立正大学東側の市道90419号線から県道ときがわ熊谷線までの区間を優先的に整備するため、関係機関との調整を進めながら道路の予備設計等を実施した。
新規	(仮称)妻沼東西幹線の整備を進めます	★	主要区間である都市計画道路年代ハツコ線の早期供用開始に向け、用地買収等を実施した。
新規	東武熊谷線跡地の道路の整備を進めます	★★	第2北大通線の整備効果を早期に発揮させるため、優先的に大幡中学校北側の市道50045号線までの整備、用地買収等を進めている。

6 効率的な行財政経営を進めます

区分	政策提言	達成度	実績・取組状況
継続	市職員の数を減らし、人件費を大幅に削減します	★★	4月1日現在の職員数は、1,220人(消防職員を除く。)で、前年度と比較して21人減員し、人件費が約1億7千万円削減される見込みである。また、減員する中で、適正な人事配置を行うことにより、行政サービスの維持向上に努めている。
継続	弾力的な財政運営を図るため、引き続き、市債を減額します	★★	新たな借入額を元金償還額以内に抑えることで市債残高を減らした。また、下水道特別会計及び農業集落排水事業特別会計においては、公的資金補償金免除繰上償還により、高金利の市債の減額に努めた。
継続	指定管理者制度等の導入を拡大し、利用者の利便の向上を図ります	★★	市営団地(6団地)の適正かつ効率的な管理を図るため、4月からその管理を埼玉県住宅供給公社が代行する管理代行制度を導入した。「行政改革大綱・後期実施計画書」に基づき、指定管理者制度の活用も含め、公の施設の管理のあり方を検証した。
充実	新ハートフル・ミーティングを実施します	★★	小学校区のハートフル・ミーティング7巡目を5月から開始し、10月末時点で12回、566人の参加があった。また、新たな取組として、あかしあ育成園に通園する子どもの保護者や吉岡中学校の3年生を対象としたミーティングを実施した。
新規	特定行政庁へ移行し、建築確認等の利便性を高めます	★★★	特定行政庁へ移行し、すべての建築物を対象として、建築確認や許認可等の業務を行っている。